

令和3年度 上田市立北小学校 学校自己評価(中間評価) 評定=A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:全くできていない

学校教育目標	総合評価		
「花とみどりと笑顔の学校」 ～あふれるあいさつ かよいあう心～ 10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造 「今の努力が未来に続く、今を精一杯」	学校長の『笑顔』を広げるためにあいさつを大切にしようとの投げかけにより、学校にあいさつが響き笑顔も広がってきている。精一杯に活動に取り組む姿も多く見られた。反面、満足しきれていない子どもたちも見られる。一人一人に寄り添いながら全ての子が輝く活動を展開していけるよう、さらに、子どもの『問い』を真ん中にすえた授業を工夫をしたい。		
今年度の重点目標	成果と課題	評価	改善策・向上策
よくふれあい…「友だちをいっぱいつくろう」「一日に何度もあいさつをしよう」 ・教師は、子どもが他者とつながることや子ども同士がかかわり合うことをサポートし、人に対する愛着心を育むことができたか。	あいさつが広がっている。子どもたち同士がかかわる活動も多い。多様な他者とのかかわりを増やしたい。	A	感染警戒レベルも下がってきたので、ボランティア参加を呼びかけ、地域の方々との交流の場を増やす。
よく学び…「じっくり考えよう」 ・教師は、子どもの『問い』を真ん中にすえた授業を行い、子どものやる気を引き出し、創造の芽を芽生えさせることができたか。	重点の3教科を中心に取り組んでいるが、アンケート結果からはまだまだ不十分さも感じられる。	B	重点研究にかかわらず、日常的な授業公開を行えるよう、学年内公開や部分公開など、行い方を工夫して学び合っていく。
よく遊ぶ…「たくさん遊ぼう」 ・教師は、遊びの時間を大切にしたい働きかけをし、遊びを通して子どもたちの意欲や主体的に活動する力を育むことができたか。	子どもたちはよく遊んでいるが、共に遊び、子どもの活力を引き出すところまでは至っていない。	B-	子どもと向き合う時間を生み出すために、会合の精選や時短で行う工夫をさらに進めていく。

領域	重点	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
学校	よくふれあい	地域の様々な方々とかかわり合う場の確保	外部講師とかかわるクラブ活動・職業体験学習・北小応援団と連携した活動・放課後学習を積極的に行い、地域のもてる力を有効活用している。	外部講師によるクラブ活動を再開することができた。コロナ禍のなか、できることを工夫して行えた。	A	昨年度実施した放課後学習をはじめ、コミュニティルームを活用した児童と地域の方々とのふれあいの場を工夫する。
		学年の枠を超えて友だちと交流する場の保証	学年内やペア学級で友だちとふれあう活動・子どもたちのアイデアを生かした児童会活動を通して、互いに高め合う活動を行っている。	「遊びの広場」という新しい取り組みに取り組んだ。6年生を中心に工夫がなされている。	A	第2回「遊びの広場」で全校児童が楽しむことのできる内容をさらに工夫して実施する。
学校教育	よく学ぶ	子どもたちの『問い』を真ん中にすえた授業の創造	以下5点を大切にしたい授業を行うようにしている。 ・子どもの「願い」や「疑問」をもとにした学習問題を設定する ・追究の見通しから課題を明確にできる場を設定する ・追究時間の保障と個々のつまづきに応じた支援をする ・自他の高まりを認め合う全体評価の場を設定する	重点研究の3部会を中心に、授業改善に向けた実践研究を進めることができています。『問い』という言葉が、浸透してきた。	B	教育事務所の指導主事を招いての全校研究授業と授業研究会を行い、全教員で『問い』を真ん中に据えた授業について学んでいく。
		生活科・総合的な学習の時間の充実 算数・外国語・人権教育を中心とした授業改善	子どもの「願い」をもとにした活動を構想し、探求的な学びを支援している。 研究授業や授業を見合う活動を通して実践的な授業研究を行っている。	Chromebook活用に時間が必要で創造的な活動にまで広がらない。 授業公開も数多くされ、授業改善につながっている。	B- B+	創造的な活動に取り組んでいる学級の実践について学び合う場を設定する。 重点研究にかかわらず、日常的な授業公開を呼びかけ行っていく。
学校運営	よく遊ぶ	「ハッピータイム」(外遊びの日)の位置づけの継続充実と遊びの時間の確保	子どもと一緒に外遊びを楽しんだり、子どもが外遊びに進んで取り組めるよう働きかけたりしている。	多忙さのなか、子どもと共に遊ぶことがなかなかできない現状がある。	B-	会合の精選や時短で行う工夫をさらに進める。
		「朝の学級活動」の位置づけの継続	子どもが考える遊びの時間を確保し、自主性を育てている。	コロナによる制限もあり不十分などもあるが、工夫した活動が行われている。	B	工夫した取り組みについて学び合う場を設定する。
学校運営	との連携	情報の発信	教育方針・取組やその成果・連絡など、必要な情報を定期的に発信している。	学年だよりは毎週、学級・学校だよりは必要に応じて発行することができた。	A	HPでの発信を充実させたり、マスコミへの情報提供をこまめに行う。
		PTA・ボランティアとの連携 家庭学習の充実	PTAやボランティアとの連携を十分行っている。 「紡ぐ」を活用し、家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけをしている。	メール・オンライン会議など連携をこまめに行った。 自己課題に取り組む内容も取り入れて行っている。	B B	状況に応じオンライン会議の実施を工夫する。 今後、Chromebook活用も研究していく。